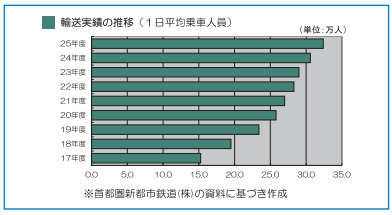
つくばエクスプレス線（平成17年8月開業）

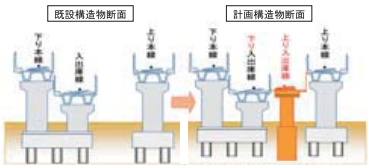
平成17年8月24日に開業したつくばエクスプレス線は、最高速度130km/hの高速運転で秋葉原と筑波研究学園都市を最速45分で結ぶ延長約58kmの路線です。当線の開業により、首都圏北東部において利便性の高い交通体系が整備されるとともにJR常磐線などの混雑が緩和されて通勤・通学の快適性に向上寄与しています。

この路線の特徴である速達性と利便性の高さから、沿線各地では住宅の建設が進むとともに、大型商業施設がオープンし、開業から8年の間に利用者が2.1倍に増加しました。

混雑度の増加傾向のなか、守谷駅と車両基地を結ぶ入出庫線は現在単線運転であるため、首都圏新都市鉄道株式会社は車両基地の充実を図る目的で入出庫線複線化工事を計画し、機構は工事を受託しました。現在、平成29年3月末の完成に向け工事を進めています。



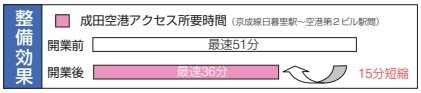
車両基地入出庫線複線化工事概要



成田新高速鉄道線（平成22年7月開業）

平成22年7月17日に開業した成田新高速鉄道線は、日本の表玄関である成田空港と都心とを結ぶ空港アクセス路線です。路線は既設線である京成線京成高砂～北総線印旛日本医大間(32.3km)の改良区間を最高速度130km/hで走行し、印旛日本医大～土屋間(10.7km)の新設区間及び成田空港高速鉄道線土屋～成田空港間(8.4km)の改良区間を最高速度160km/hで走行する、総延長51.4kmの路線です。

当線の開業により都心から成田空港までの所要時間は開業前の京成本線経由に比べ15分の時間短縮(日暮里～空港第2ビル間の最速列車の所要時間差)が図られました。また、千葉県北西部の利便性向上及び成田市と千葉ニュータウンとの機能連携強化に寄与しています。



（出典：京成電鉄株式会社ホームページより作成）

印旛沼を背に走るスカイライナー